

令和5年度第1回岩手県地域公共交通活性化協議会沿岸地域別部会 議事要旨

1 日時

令和5年5月26日（金） 13：30～14：20

2 場所

釜石市（釜石市役所第4庁舎 3階第7会議室）

3 主な議事内容

- (1) 次期地域公共交通計画の策定方針について
- (2) 今後の進め方について
- (3) その他

4 主なご意見等

(1) 次期地域公共交通計画の策定方針について

- ・ 地域ごとの背景・課題は考慮しないのか。
⇒ 今後、地域別部会やバス路線活性化検討会、市町村・事業者等へのアンケート調査により、圏域や路線毎の課題を把握し、骨子案等に向けて整理していくことを想定している。（事務局）
- ・ 基本的方針案の3つ目の文言で、「それぞれに連携して」だと各々が勝手に取り組むというような印象がある。「相互に連携して」などが一般的な表現かと思う。
⇒ 各々が勝手に取り組むというような趣旨で記載したものではないが、御意見を踏まえ、表現を検討する。（事務局）
- ・ 観光・医療福祉など、他分野との連携について、市町村レベルだと福祉タクシーなどの取組があるが、県の中で、関係部局と議論する場面はあるのか。
⇒ 庁内でも関係部局間で情報収集を行っていく必要があると認識している。MaaSなど、横断的連携が必要な取組もあるので、様々な機会を計画策定の作業の中で捉えて検討していきたい。（事務局）
⇒ 買い物バスやスクールバスなど、単に移動というだけでなく、生活を成り立たせるための手段となっている。組織が大きくなると縦割りとなるので、密接な調整・連携をお願い

し、会議の場にフィードバックしていただきたい。

⇒ 公共交通という枠組みの中で、いただいた御意見を踏まえて幅広く情報収集し、検討していきたい。(事務局)

- 運転士になりたい人が減少しており、運転士の高齢化による定年退職者数も増加している。現状の課題は、利用者の生活時間帯に合わせて運行することが非常に難しくなってきたことである。
- 佐賀県では、県の交通担当課に市町村交通を検討するコーディネーターを配置している例がある。各市町村でも、なかなか専門家の育成が難しいという状況なので、そういった支援も検討いただきたい。
 - ⇒ 現状、市町村に有識者を派遣する取組を実施しているが、いただいた御意見も踏まえて、市町村にとって利用しやすい制度を検討していきたい。